


当院におけるCOVID-19受け入れ体制の構築 ならびにN95マスクの供給状況と 代替え製品の採用について

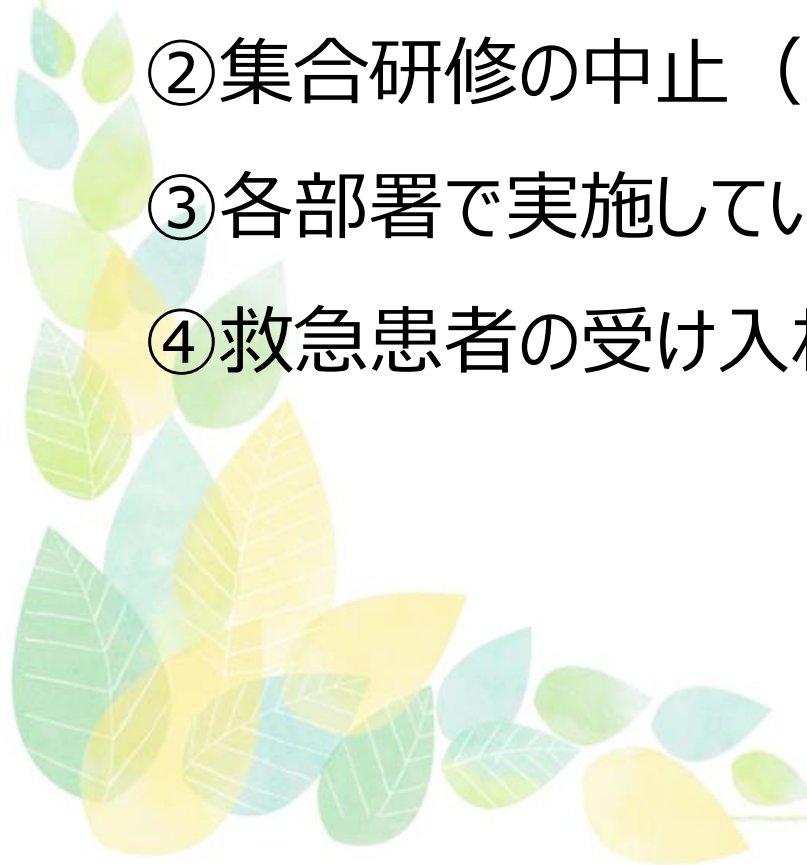


特定医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院
高谷美奈

はじめに

当院で実施した対策

- ①職員食堂の食事スタイルの見直し
- ②集合研修の中止（方法の変更）
- ③各部署で実施している防止対策の確認
- ④救急患者の受け入れ状況と疑い患者の受け入れ体制



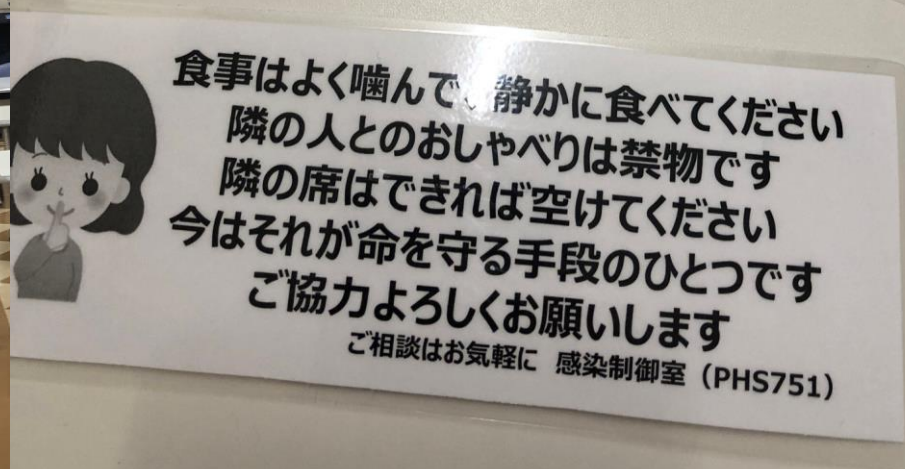
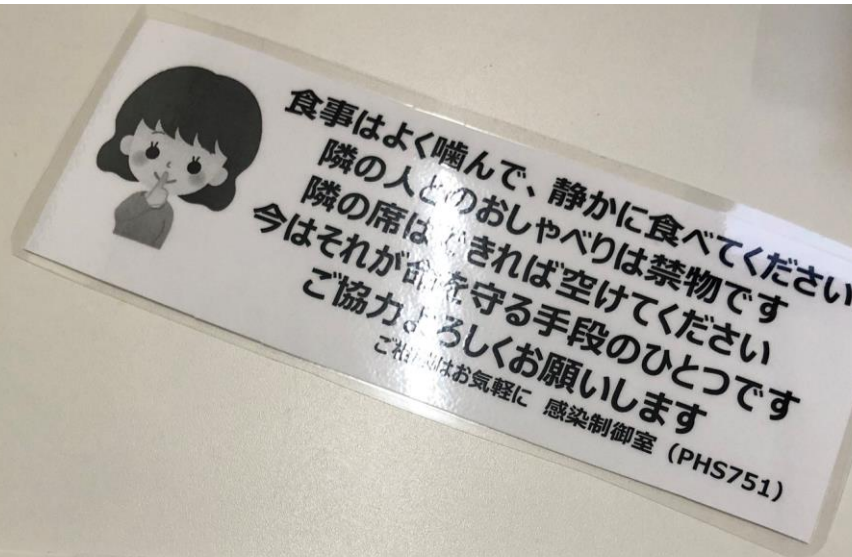
職員食堂の使用方法の見直し

当院では職員
ーブルにつき6人

向かい
ーア

ておりひとつのテ

を避け、
とした。



集合研修の中止と実施方法の見直し

4月は主に新採用者を対象とした研修を毎日1時間程度実施していた。集合研修が主で、30人程度の人数で開催されていた。



防止対策の確認

各部門でハイリスクとされる検査の中止や安全な方策が検討され実施されていた。

栄養科
集団栄養指導の中止
→個別化

検査科
経食道エコー
呼吸機能検査
インフルエンザなどの検査
→中止

面会の制限
家族一人のみとし、
手術説明、手術当日
入退院のときのみ

リハビリ科
CPX
(cardiopulmonart
exercise testing) の
中止

チーム医療
栄養サポートチーム、リハ
カンファ、感染チームラウ
ンド、各カンファレンスの
中止

救急患者の受け入れ状況と 疑い患者の受け入れ体制

当院では重症呼吸不全ならびに心肺停止などの循環器の三次救急の受け入れを実施している。重症心不全など呼吸器管理が必要な患者も存在しており、COVID-19が疑われる患者で呼吸不全のある患者との鑑別が困難な状況があった。

当時は大阪の医療機関でクラスターの発生が相次ぎ、行政検査の実施までに平均5日、結果が判明するまでに1週間以上を要した。発熱外来の設置もしくは感染症病床として届け出を実施しない限り外部の民間業者に委託することは行政（保健所）の指示で禁止されていたため、全てを行政検査として提出し重症例であっても非常に検査までに時間がかかる状態であった。

疑いであっても検査確認できるまで十分な対策を講じ続ける必要があり、当院に所属する医師全員で受け入れ時の防止対策の徹底と受け入れ基準について話し合いを設け、具体的な内容の取り決めを行った。

【COVID-19 疑い患者の受け入れ基準】

救急車・救外電話相談時に発熱の有無・海外渡航歴の有無・濃厚接触の有無を必ず確認する。
来院時には救急車内or救急外来前で検温を行う。

発熱患者(37.5度以上が2日以上)、病院前の検温で37.5度以上の発熱
咳・痰などの感冒様の症状

(+)

(-)

咳・痰などの感冒症状・酸素化低下

濃厚接触歴・海外渡航歴

(+)

(-)

(+)

(-)

疑いとして応需

別紙の特別症例を参照

疑いとして応需

応需する！

<当てはならない>

<当てはまる>

疑いとして応需

応需する！

気管内挿管が必要な場合、可能であれば筋弛緩剤を用い麻酔科医師がガイド下で挿管を実施する。挿管には必ず防護BOXを使用し、N95マスクを装着すること

【COVID-19 疑い患者の受け入れ基準】

発熱があっても応需する特別症例

- 当院退院後 2 週間以内のPCIを受けた患者。
- 当院退院1か月以内の創部感染症やその他の感染などが積極的に疑われる外科患者。
- 当院フォロー中の再解離疑いなどの患者。
- 他院でコロナは否定的であると当院に紹介となった患者。
- 呼吸器症状・ショックバイタルでないMI疑いの当院かかりつけ患者。
- 当院退院後2週間以内のPCIを受けた患者のMI疑いであれば、ショックバイタルでも応需する。



実際に使用していた気管内挿管用のBOX

手術で気管内挿管を実施する場合や
救急搬送された患者で気管内挿管が
必要な患者全員に使用を徹底



状況について

患者の受け入れを実施していなかった。しかし、個人防護具の供給がなくなり院内の在庫のみ



職員にシャワーキャップの寄付を呼びかけ300枚程度確保
手術や心臓カテーテル時は布製の併用



手袋

ちで準
ニングを

プラスチック手袋は
適正な使用を維持
手指衛生を徹底

**N95マスクについては
代替えとして利用できるものなし**

N95マスクの使用について

感染症指定病
たが、疑いが
給は早い段階
となっていた。

実施していなかつ
個人防護具の供
院内の在庫のみ

用ではなく



K
N95

まとめ

- ◆院内での対策は組織作りから！
- ◆救急患者の受け入れについては感染が否定できない
例もあり専門病床を有さない場合でも対応が必要
- ◆感染防止対策の徹底は特別なものではなく平時の対応が重要である
- ◆N95マスクは十分な供給がないが、それに変わる方法もないため取り扱いを工夫し安全に使用することが必要